



2022年3月8日

お知らせ

鈴与商事株式会社
経営企画部長 佐野 博紀

静岡市SDGs宣言への継続参加及び2021年度の宣言達成状況について

鈴与商事株式会社（本社：静岡県静岡市清水区入船町11-1／本部：静岡県静岡市葵区栄町1-3 鈴与 静岡ビル／資本金：20億円／代表取締役社長：加藤正博、以下、鈴与商事）は、2019年11月に「静岡市SDGs宣言※」として『「共生（ともいき）」の精神の下、エネルギーを通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献する』を宣言致しました。

この度、本SDGs宣言に掲げた2021年度の取り組みに対する達成状況、並びに2022年度の取り組み目標について、静岡市へ「SDGs宣言達成状況報告書」を提出しましたことをお知らせ致します。

鈴与商事は、静岡市と電力売買の一括契約とVPP（バーチャルパワープラント）を組み合わせた「静岡市 エネルギーの地産地消事業」を協働で推進しており、本事業の一環として、市民の皆さまの卒FIT電源を活用し、市有施設に電力を供給する「自治体による卒FIT電源の利活用事業」にも取り組んでいます。当社及び卒FITを除く協力企業から、静岡市内の再生可能エネルギー発電設備由来の電力を6施設834千kWh調達し、静岡市有施設に供給することで、地産地消に貢献しております。

2021年4月からは静岡市役所庁舎（葵区役所、駿河区役所、清水区役所）に対して、100%再生可能エネルギー由来となる「RE100電気」の供給を開始しており、静岡市有施設における直近1年間の平均では、エネルギー地産率59.06%を達成しています。

また、静岡市が行っている森林整備に関するモデル事業「森林環境アドプト事業」にも2011年度より継続し、参画しています。本事業は、地域の企業・団体が間伐経費を負担し、継続的な森林整備を進めることで二酸化炭素の地産地消モデルの構築を目指しています。

鈴与商事は、2022年も引き続き「静岡市SDGs宣言」に参加するとともに、これらのSDGsに資する取り組みを継続していくことで、これからも持続可能な地域社会の実現に貢献して参ります。

※「静岡市SDGs宣言」とは、市内の事業所や団体等によるSDGs活動を促進し、優良事例の発掘と横展開を図るとともに、市内事業所・団体等におけるSDGs取組状況を測定し、国内外に向けて情報発信することを目的に、静岡市が募集している宣言となります。

【静岡市SDGs宣言達成状況報告書】

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
「共生（ともいき）」の精神の下、エネルギーを通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
エネルギーの地産地消			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022年12月31日までの取組目標
			昨年、全社員への運動習慣の定着および健康意識向上を目的としたイベントを継続的に実施し、健康経営優良法人「ホワイト500」に3年連続3回目の認定を受けた。引き続き社員の健康維持・向上やワークライフバランスの実現を推進し、ホワイト500認定の継続を目指す。
	新型コロナウイルス感染拡大防止により、従来の見学ルート・プログラムが変更となる為、感染拡大防止に最大限配慮した形で、静岡市エネルギーの地産地消に関する説明を継続的に実施する。	沼上清掃工場及びびしずもーる沼上内の見学コース上に掲出した事業説明パネルを用い、2021年の見学者約5,000人に対する周知を実施した。	引き続き感染拡大防止に最大限配慮した形で、静岡市エネルギーの地産地消に関する説明を継続的に実施する。
	引き続き市民の卒FIT電力や市内事業者からの買取を進め、更なる地産率向上を目指す。	直近1年間の平均で静岡市有施設のエネギー地産率59.06%を達成した。	引き続き市民の卒FIT電力や市内事業者からの買取を進め、更なる地産率向上を目指す。
	引き続き太陽システムやZEHの普及に取り組むとともに、再生可能エネルギーの活用に関する商材を開発していく。	太陽光発電システム無償設置サービス（0円ソーラー）及びZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）モデルハウスの見学会等により、再生可能エネルギー活用への取り組みを推進した。	引き続きPPAモデルを含めた太陽光システムやZEHの普及に取り組むとともに、再生可能エネルギーの活用に関する商材を開発していく。
	紙面・動画等の代替手段を用いて、災害時の蓄電池活用方法のレクチャーを継続する。	静岡市職員向けの業務用ネットワーク内にマニュアルを配備し、閲覧可能な環境を構築した。	配備したマニュアルを基に、感染拡大防止に最大限配慮した形で、現地での活用方法のレクチャーを行う。
	引き続き市内の地産電源の獲得に努め、更なる地産率向上を目指す。	自社及び卒FITを除く協力企業から、静岡市内の再生可能エネルギー発電設備由来の電力を6施設834kWh調達し、静岡市有施設に供給することで、地産地消に貢献した。	引き続き市内の地産電源の獲得に努め、更なる地産率向上を目指す。
	静岡市葵区井川地区において、引き続き、約30～45haの森林整備を実施する。（事業期間2018～2020年度）	森林アドプト事業に協賛。事業内容は、静岡市葵区井川地区において、2018～2020年度にかけ、約34haの森林整備を実施し、間伐材を活用した積み木を静岡市内こども園等へ寄贈した。	森林アドプト事業への協賛を継続し、森林整備へ貢献していく。事業内容は、静岡市葵区清沢地区において、引き続き、約36～39haの森林整備を実施する。（事業期間2021～2023年度）
	引き続き広報・啓発活動を行い、取り組みに賛同頂ける市民からの買取を推進していく。	静岡市広報12月号に掲載、2021年末時点で累計210件の申し込みを頂いた。	引き続き広報・啓発活動を行い、取り組みに賛同頂ける市民からの買取を推進していく。

以上

≪本件に関する問い合わせ先≫
 鈴与商事株式会社
 経営企画部
 054-273-7832
s-info@ss.suzuyoshoji.co.jp